

第一中学校けやき学級 (特別支援学級)

今学期もまとめの時期に入り、今年もあと少しとなりました。2学期は体育祭をはじめ、宿泊学習、校内合唱祭、クリスマス会など大きな行事がたくさん実施される学期です。今回は宿泊学習について紹介します。

10月21日から23日まで、長野県にある「信濃わらび山荘」で一中二中合同宿泊学習を行いました。二中の生徒とは6月の一中二中合同社会見学以来3か月半ぶりでしたが、これまで同様仲良く活動できました。

1日目の朝は雨が降っていましたが、長野県方面に向かうにつれて晴れてきました。昨年度は台風とぶつかってしまい中止になってしまった「佐久こども未来館」にも無事に到着しました。わらび山荘までは長い道のりでしたが、バスの中は和気あいあい、時間なんて忘れてしまうくらいでした。わらび山荘に着いてから開校式を行い、山荘の周辺を散策しました。夜も天候に恵まれて、初めての試みとして、暗い夜道をライト一つ、一人で目的地まで行く、ナイトトレーニングも実施できました。参加した生徒はみんな無事に課題をクリアすることができました。

2日目の午前中は雨の中、豚汁作りをしました。寒い中で食べる温かい豚汁は格別でした。午後は、地域の方を招いて、和太鼓やダンス、歌の発表をしました。一生懸命練習した太鼓や歌、ダンスは大成功で地域の方々もとても喜んでくれました。夜は、家族へ手紙を書きました。手紙には、この2日間の思い出や、お家の方への感謝の気持ちを綴り、とてもハガキ一枚にはおさまらないほどでした。

3日目は、布団や荷物を片づけてから朝食でした。閉校式では、お世話になった管理人さんたちにお礼のあいさつをし、午後は山梨県にある「工芸村あすなろ」で陶芸やパーニングアートを体験してきました。一時間半の作品作りの時間もあっという間で、とても集中して素晴らしい作品ができました。その作品は来年の児童生徒作品展でお見せできると思います。

自然いっぱいの山荘で学び、体をたくさん動かした宿泊体験など、この3日間はあっという間に過ぎてしまいました。帰りのバスの中の生徒達の寝顔を見ていると、この3日間はとても充実したいいものであったように感じます。友達との絆や友情も深まり、これからの学校生活に繋がるとてもよい宿泊学習になりました。

河鍋暁斎記念美術館 2014年11～12月企画展示

河鍋暁斎記念美術館(南町4-36-4 ☎441-9780)

企画展：「時代を映す鏡—暁斎の戯画と風刺画展」

会期：11月1日(土)～12月23日(火・祝) [休館日：毎週木曜、11/26～30]

入館料：一般320円、中～大学生210円、小学生以下105円

先月に引き続き、暁斎の描いた戯画・風刺画を展示しております。12月に入り、一部展示替えをし、暁斎筆「十二ヵ月の内 六月 大雨と電信柱」を新たにご覧いただきます。幕末から明治前半の世相や政治、戦争、そして文明開化の様子を風刺したり、茶化したりした暁斎作品をお楽しみ下さい。

とうじせいすいくらべ 「当時盛衰競 流行の方 おあいだの方」

(暁斎か) 幕末 大判錦絵

この錦絵は、上部に「当時盛衰競」という番付が載せられています。比べているのは「流行の方」と「おあいだ」つまり、不要になった「方」です。流行者は鉄砲打ちや場末の家主、人入(ヒトル)人足(ニソク)宿、宿場の人足から馬方、雲助など、移動に関わる人々が多く、不要になった方には鼈甲屋、市中の売り店、洋弓場、芸者さらに書画屋、女髪結、芝居、三味線屋と遊興や贅沢品に関わる者が多いことが分かります。下段の絵には、芸者さんが毛唐人の髪をつかみ、それを車屋さん、軽子さん、山の手の大屋さんが引き止める姿が描かれています。絵の中の男性が全員髷を結っていることや、番付の中央に「行司 横浜の町人」や「心配 江戸南方四民」とあることから、幕末の黒船来航か、戊辰戦争前の風雲急を告げる江戸や横浜で出版された錦絵かもしれません。こうした世相風刺画に絵師の名は書きませんでした。芸者さんの表情や、人々の誇張された動きに、「暁斎らしさ」の見える錦絵です。

